

第3学年 特別活動 学習指導案

日 時：平成23年10月5日（水）5校時（14:00～）

授業会場：花巻市立大迫中学校体育館

指導生徒：3学年（男子28名 女子26名 合計54名）

授業者：木村 義輝（花巻市立大迫中学校）

共同研究者：佐々木 晋（花巻市立宮野目中学校）

照井 陽重（花巻市立大迫小学校）

1 題材名 「迫中祭を成功させよう」

2 題材について

(1) 題材について

特別活動の目標は「望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う」ことである。

本題材は、学級活動の内容（2）「適応と成長及び健康安全」のオ「望ましい人間関係¹の確立」にあたるものとして、「人間関係の在り方を考え、様々な集団の中での望ましい人間関係を確立していくことのできる態度や能力を養おうとする」ことをねらいとしている。ここでは、「集団の中での行動の仕方や生き方について考え、望ましく円滑な人間関係の確立に資するようにすることが大切である」とされている。

また、本題材は、学級活動の内容（1）「学級や学校の生活づくり」のウ「学校における多様な集団の生活の向上」にも関連するものである。ここでは、「学校における多様な集団の生活への生徒一人一人の適応や、そこでの自主的、実践的な活動についてもその助長を図ることが大切である」とされ、「積極的に多様な集団へ参加し、集団生活のマナーとルールを守りながら自主的、実践的な活動を進めることについての指導・援助が大切である」とも示されている。

(2) 生徒について

素直で真面目な生徒が多く、何事にも一生懸命取り組もうとする前向きな生徒達である。最上級生となり4月に行われた体育祭では、生徒会が中心となって成功を収めることができた。

最上級生としての意識や、行事を自分たちの手で作り上げようとする意識は育ってきたが、教師をすぐに頼ったり、教師の指示をそのまま伝えたりする場面が見られ、問題を自分たちの手で解決する力をつけることが現在の課題である。

また、事前に行事や目標に関するアンケートを行い、行事に意欲的に参加し、成功させたいと願っている生徒が多いことが分かった。しかし、学期や行事の最初に目標を設定するが、その目標が形骸化してしまっているた

¹ 「望ましい人間関係」とは、豊かで充実した学級生活づくりのために、生徒一人一人が自他の個性を尊重するとともに、集団の一員としてそれぞれが役割と責任を果たし、互いに尊重し、よさを認め発揮し合えるような開かれた人間関係である。（『中学校学習指導要領解説 特別活動編』P25）

め、目標を意識した取り組みや振り返りができていないという実態がある。その一方で目標をもつことは大切だと感じている生徒が多く、意識と行動に矛盾がある。

	思う している	どちらかといえば思う どちらかといえばしている	どちらかといえば思わない どちらかといえばしていない	思わない していない
行事に意欲的に参加していますか。	24人	24人	1人	
迫中祭を成功させたいと思いますか。	41人	6人	2人	
目標を意識した生活をしています。	9人	30人	7人	3人
目標をもつことが大切だと思いますか。	30人	19人		

(3学年49名に対し、9月22日実施)

目標づくりの意義について、杉田洋氏（文部科学省初等中等教育局教科調査官）は次のように述べている²。

「目標のない学級や子どもは糸の切れた凧のようなもの」です。また、目標を見失った学級では、子どもたちは生き生きと活動しませんし、がんばりもききません。だからこそ、「よりよい生活づくりの第一歩としての目標づくり」が欠かせないのです。

しかし、残念なことには、学級目標が作られていなかったり、単なるお題目になっていたり、肝心の個人目標が設定されていなかったりする学級が意外と多いのです。

(3) 指導について

入学以来、人間関係を学ばせるために、学活や総合的な活動の時間、音楽の授業で合唱に取り組み、また、国語の授業では群読に取り組みなど、集団活動の量を増やし、質を高める指導を意識して行ってきた。

特に合唱に力を入れ、歌うことによって心を開き、仲間とより良い人間関係を築くことをねらいとして、様々なステージや講習会に参加してきた。今年の迫中祭ではその集大成として「全校ステージ」に取り組むことが生徒会で決定した。「全校ステージ」は今年初めての取り組みで、1年生から3年生が合唱や群読を発表し、それを一つのステージとしてまとめるものである。

「全校ステージ」を自分たちの手で作り上げるためには、本気で取り組み、仲間と協力しなければならない。そこに挑戦し、苦勞を乗り越え、成功したとき、大きな感動を味わえる。その過程で、仲間の大切さを実感させ、本物の人間関係を学ばせたいと考えた。

本時は、「全校ステージ」に向けての目標を、話し合いをし、折り合いをつけることを意識しながら集団決定させ、集団の中での望ましい人間関係の在り方について考えさせていく。

なお、本時は「全校ステージ」に向けての学年全体の目標設定であり、目標をすぐに実行に移す場面を作るため、3学年を一斉学習で指導していく。

² 『よりよい人間関係を築く特別活動』P172

3 指導計画

- (1) 事前指導「迫中祭原案審議」・・・1時間（学活）
 「迫中祭学級目標決定」・・・1時間（学活）※ワークシート①
 「全校ステージ取り組み」
 ①「学年での合唱練習、流れの確認」・・・3時間（学活、総合）
 ②「全校での合唱練習、流れの確認」・・・1時間（総合）
- (2) 前 時 ①「目標についての意識調査」
 ②「全校ステージへの思いと目標設定」・・・1時間（学活）※ワークシート②
- (3) 本 時「全校ステージの目標を考えよう」・・・1時間（学活）※ワークシート③
- (4) 事後指導「目標掲示」・・・放課後
 「全校ステージ取り組み」
 ①「学年での合唱練習、流れの確認」・・・総合、迫中祭取り組み（2週間）
 ②「全校での合唱練習、流れの確認」・・・総合、迫中祭取り組み（2週間）
- (5) 迫中祭（10月23日）
- (6) 振り返り「個人反省、学級反省」・・・1時間（学活）

4 本時の指導

(1) ねらい

「全校ステージ」に向けての目標を話し合いを通して集団決定し、集団の中での望ましい人間関係の在り方について考えることができる。

(2) 評価規準

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評価規準	「全校ステージ」に向けての目標を決定する話し合いに積極的に参加し、意欲的に考えようとしている。	他の人の意見を受け止めながら建設的に話し合いを進め、集団の中での望ましい人間関係の在り方について考えている。	活動のねらいを理解し、効率的な話し合いの進め方について理解している。

(3) 展開

	活動の内容	予想される生徒の反応	留意点・資料等
導入 (5分)	1 アンケート結果を示し、気付いたことを発表する。 2 課題を設定する。	・意識が矛盾している。 ・目標が意識されていない。	・プロジェクターで提示する。 ・挙手、指名発言
全校ステージで全員が本気になれる“目標”を決定しよう。			
展開 (40分)	3 グループで話し合いをし、発表する。 4 目標を決定する。 5 目標達成に向けて、自分にできることを考え、発表する。	・一生懸命 ・Yes, We, Can	・個人の考えを事前にワークシート②にまとめさせておく。 ・理由を含めて考えさせる。 ・4人×12グループ ・紙に書いて黒板に貼る。 ・折り合いをつけることを意識させる。 ・複数の意見から一つの目標を決めさせる。 ・多数決、and、orなどの安易な方法で決めないよう指示する。 ・時間内に話し合いが終わるように指示する。 ・ワークシート③—4
終結 (5分)	7 本時の振り返り 8 教師によるまとめ		・ワークシート③—5

【参考文献】

- ・文部科学省 『中学校学習指導要領解説 特別活動編』 日本文教出版 平成20年9月25日
- ・杉田洋 『心を育て、つなぐ特別活動～道徳的实践へのアプローチ～』 文溪堂 平成21年8月1日
- ・杉田洋 『よりよい人間関係を築く特別活動』 図書文化 平成21年12月1日
- ・「国立教育政策研究所 教育課程研究センター」HP (<http://www.nier.go.jp/>)
 「評価基準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料」(中学校編 特別活動) 平成23年7月
- ・「特別活動 希望の会」HP (<http://kibunokai.net/>)

3年 組 番 名前 _____

～2011 迫中祭スローガン～

「繋げよう この気持ち」

1 3年 組として迫中祭をどのようなものにしていきたいですか。“願い”や“思い”を書いてみよう。

2 “願い”や“思い”をもとに3年〇組の学級“目標”を考えよう。

3 メモ

4 決定した“目標”

--

5 “目標”達成に向けて「自分にできること」「していきたいこと」を書いてみよう。

「迫中祭を成功させよう①」

ワークシート②

3年 組 番 名前 _____

いよいよ迫中祭が1ヵ月後に迫ってきました。今年の迫中祭ではスローガン「繋げよう この気持ち」のもと、全校が一丸となって「全校ステージ」に取り組みます。来週の学活の時間に「全校ステージ」に向けての目標を考えます。

それに向けて、“目標”についての意識調査を行います。また、現時点での「全校ステージ」への“願い”や“思い”を考え、それをもとに「全校ステージ」の“目標”を考えてみましょう。

1 “目標”についての意識調査

次の4つの質問に対して、1番あてはまる項目に○をつけてください。

	思う している	どちらかといえば思う どちらかといえばしている	どちらかといえば思わない どちらかといえばしていない	思わない していない
行事に意欲的に参加していますか。				
迫中祭を成功させたいと思いますか。				
目標を意識した生活をしています。				
目標をもつことが大切だと思いますか。				

2 「全校ステージ」をどのようなものにしていきたいですか。“願い”や“思い”を書いてみよう。

3 “願い”や“思い”をもとに「全校ステージ」の“目標”を考えよう。

3年 組 番 名前 _____

1 今日の課題

2 話し合いでのメモ

3 決定した“目標”

4 “目標”達成に向けて「自分にできること」「していきたいこと」を書いてみよう。

5 今日の授業の振り返り（・話し合いを通して・決定した目標について・全校ステージの流れを作って…）

1 はじめ

これから迫中祭、全校ステージの標を決める話し合いをします。

4人グループで話し合いをしてください。時間は5分です。

決まった目標は紙に大きく書いて黒板に貼ります。

理由を含めて説明できるように発表する人を決めてください。始めてください。

2 発表

グループごとに理由を含めて発表してください。

では、ここから一つの学級目標を決めます。意見のある人は発表してください。

(意見が出ない場合は、グループにかえしてよい)

3 話し合い

【意見を 深める】 段階

- 賛成意見を聞く
- 採用されないグループに意見を聞く
- 意見を出されたグループに対して意見を聞く
- 意見を言えそうな人を指名する

【意見を 集団決定 する】 段階

- 折り合いをつける

この学級目標でいいですか。

※ 多数決・and・or で決めない。

※ 時間内に決める。

※ 理由を含めて話をさせる。

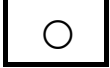
※ こんな場面に注意！

- ・無関心、無気力な態度で、話し合いに参加しない生徒が見られた場合
- ・内容としてふさわしくない、個人的な問題が出されたとき
- ・話し合いの焦点がぼけたり、実践が難しいことが予想されたとき
- ・一部の生徒の強い意見に全体が混乱したり、誘導されたりしているとき
- ・衝動的、感情的な意見が飛び交い、話し合いが進行しなくなっているとき
- ・一方的な多数決で事が決されようとしているとき
- ・議事の方向が、罰則を求めるような方向に進んでいるとき
- ・司会者や議長が運営に困ったり、助けを求めたりしたとき

会場図

ステージ

スクリーン



プロジェクター

黒板

議長

A1

A	A
A	A

A3

A	A
A	A

A6

A	A
A	A

B2

B	B
B	B

B5

B	B
B	B

A2

A	A
A	A

A4

A	A
A	A

A7

A	A
A	B

B3

B	B
B	B

B6

B	B
B	B

A5

A	A
A	A

B1

B	B
B	B

B4

B	B
B	B

議長	書記
----	----

A組 27名

B組 27名

・議長と書記はB組から

→ 議長は生徒総会の議長

→ 書記は学級書記

教師が指名